



Cisco Cloud Network Controller のインストールの準備

- [Google Cloud での Cisco Cloud Network Controller の展開に使用されるリソース](#) (1 ページ)
- [Cisco Cloud Network Controller の通信ポート](#) (2 ページ)
- [Cisco Cloud Network Controller のインストール ワークフロー](#) (3 ページ)

Google Cloud での Cisco Cloud Network Controller の展開に使用されるリソース

ここでは、Google Cloud での Cisco Cloud Network Controller の展開の要件を示します。

Cisco Cloud Network Controller のリソース

Cisco Cloud Network Controller を Google Cloud に展開すると、Cisco Cloud Network Controller は次のインスタンス プロファイルを使用し、必要なリソースを作成します。

- 1 コンピューティング インスタンス :
 - インスタンス タイプ : n2-standard-16
 - CPU : 16 vCPU
 - メモリ : 64 GB
 - ディスク : OS disk [300GB]、Data Disk – 100GB [empty]
- データ ディスク :
 - 空のデータ ディスク
 - サイズ : 100GB
 - タイプ : 標準 SSD

- VPCネットワーク：autoCreateSubnetworks が False に設定されている場合
- サブネット：Cisco Cloud Network Controller の管理 NIC がこのサブネットに接続されています。
- Google Cloud プロジェクト：2つ以上の Google Cloud プロジェクト：
 - ACI インフラ用に1つ
 - テナントごとに1つ



(注) インフラ アカウントで実行できる Cloud Network Controller は1つだけです。同じインフラ アカウントで複数の Cloud Network Controller を実行することはサポートされていません。

Cisco Catalyst 8000V

Cisco Cloud Network Controller のセットアップ時に定義した帯域幅要件に応じて、適切なサイズで Cisco Catalyst 8000V を展開します。

ルータのスループットの値によって、展開する Cisco Catalyst 8000V インスタンスのサイズが決まります。スループットの値を大きくすると、それに応じた Google Cloud インスタンス タイプが展開されます。Cisco Catalyst 8000V ライセンスは、Cisco Cloud Network Controller のセットアッププロセスの一部として設定したスループット構成に基づきます。コンプライアンスのために、Smartアカウントに同等以上のライセンスとAXフィーチャセットが必要です。

Cisco Catalyst 8000V は、ティアベース (T0/T1/T2/T3) のスループット オプションをサポートしています。次の表に、Cisco Catalyst 8000V のさまざまなルータ スループット設定に必要な Google Cloud インスタンス タイプを示します。

Cisco Catalyst 8000V のスループット	Google Cloud のインスタンス タイプ
T0 (最大 15M のスループット)	n1-standard-2
T1 (最大 100M のスループット)	n1-standard-4
T2 (最大 1G のスループット)	n1-standard-4
T3 (最大 10G のスループット)	n1-standard-8

Tier2 (T2) は、Cisco Cloud Network Controller でサポートされるデフォルトのスループットです。

Cisco Cloud Network Controller の通信ポート

Cisco Cloud Network Controller 環境を設定する際は、下記のポートがネットワーク通信に必要であることを注意してください。

- Cisco Cloud Network Controller には、[セットアップ ウィザード](#)を使用した [Cisco Cloud Network Controller の構成](#) の最初に Cisco Cloud Network Controller にログインするために使用するものと同じ Cisco Cloud Network Controller 管理 IP アドレスを使用します。
- Google Cloud ファイアウォールルールの場合：
 - WEB-Server : Ingress は 80、443 を許可します
 - SSH-Allow : Ingress は 22 を許可
- ライセンス登録の場合 (tools.cisco.com へ) : ポート 443 (アウトバウンド) が必要です。
- DNS の場合 : UDP ポート 53 アウトバウンド
- NTP の場合 : UDP ポート 123 アウトバウンド
- リモート認証 (LDAP、Radius、TACACS+、SAML) を使用する場合は、適切なポートを開きます。
- 認証局を使用する場合は、適切なポートを開きます。

Cisco Cloud Network Controller のインストール ワークフ

□ —

このセクションでは、Cisco Cloud Network Controller をインストールして展開するために必要なタスクの概要について説明します。インストールタスクは、Google Cloud 管理ポータルと Cisco Cloud Network Controller の初回セットアップ ウィザードを使用して実行します。

1. Google Cloud のサポートを Cisco Cloud Network Controller で準備するためのすべての前提条件を満たします。

[Cisco Cloud Network Controller のインストールの準備 \(1 ページ\)](#) を参照してください。

2. Google Cloud での Cisco Cloud Network Controller の展開

[Google Cloud での Cisco Cloud Network Controller の展開](#) を参照してください。

3. First Time Setup Wizard を使用して Cisco Cloud Network Controller を構成します。

[セットアップ ウィザードを使用した Cisco Cloud Network Controller の構成](#) を参照してください。

4. Cisco Cloud Network Controller を介して必要な構成を行います。

[Cisco Cloud Network Controller GUI のナビゲート](#) および [Cisco Cloud Network Controller コンポーネントの構成](#) を参照してください。

5. 必要に応じて、展開を削除します。

「[Google Cloud での Cisco Cloud Network Controller 展開の削除（Google Cloud ルーターを使用した外部接続）](#)」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。